



人に支えられて

商売をしている関係で、数人のスタッフと共に仕事をしている。9月の始め、スタッフの1人が、けがをして長期休暇を取るようになった。

突然で驚いたが、以前から「空気ができたら仕事したい」と言っていたので、人がいたので、

その穴はすぐに埋めることができた。しかし、9月中旬、次は病気で入院するスタッフが出た。そのため、普段は家事や経理をこなす妻を現場に駆り出した。10月中旬、担当するエリアが広がることになり、3人の増員が必要になった。「どうしても仕事を回せない」と思ったが、手当たり次第、知人に声を掛け、人員



羽ノ浦町 仁尾 修治さん

を確保しようと奔走した。しかし、簡単には人が集まらない。「もう無理かもしれない」とそう思っていた時、数人のスタッフが声を掛けてくれ、自分の仕事をこなした上に欠員を埋める仕事をしてくれた。その後、入院していたスタッフも復帰し、新しいスタッフも仕事に慣れ、少しずつ現場も落ち着いてきた。

この数カ月の苦しい時期を振り返り、今までの自分を反省した。ひとりの力では限界がある。私と共に働いてくれるスタッフに今まで以上に心を寄せたい。単なる労使関係ではなく、お互いに温かさを感じ合いたい。深い信頼関係を築いて、良い仕事をしよう。今の気持ちをお忘れず、雇用を生み、守り、育てることによって微力ながら地域社会へ恩返しをしていきたい。

次は、新野町の新居洋子さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市文化祭短歌大会選

- 入選 小畑 定弘
前略と書きたる後に込み上げるこの昂ぶりは恋に似ている
- 入選 青木 弘子
汗だくで大きなスイカを切り分けてグラウンドゴルフに夏を頬張る
- 入選 久積多美子
刈り展べて田ごとの段段あざやかに峽の奥まで涼しき一望
- 入選 黒部 君代
刈り田より拾う落穂が秋の陽の温み残して夕映えの中
- 入選 兼任ゆき子
木の芽和へ作らむとして山椒の芽つみし指先しるく匂ひぬ
- 入選 神原 常経
秋深く君は逝きたり青春を共に歩みし熱き昭和よ
- 入選 丸山三千代
卒寿まで頑張りたしと夫と共家族の支え受けて生きゆく
- 入選 宮本久美子
並べはりし十五年目の命名札曾孫崇良は家族の太陽

俳句

阿南市俳句連合会選

- 日向ぼこ猫の口裂く大あくび
谷脇 春代
- 初詣へ向かふ卒寿の老人車
神野 島女
- 柚子みその炊き上がりたりふいの客
荻原 朝子
- 義士の日や義士に俳人多かりし
陶久 晴義
- 永観堂人人や紅葉狩り
佐野 極童
- 除夜の鐘余韻うねりつ夢路なる
工藤千鶴子
- 冬風や小島にのこる番屋跡
喜来富士子
- 表札は右寄りが良し冬珊瑚
鈴木 順子
- 上陸ヘタラップ下りる冬帽子
島 玲子
- 体操を編み出す白寿冬日差し
岡久 玲子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

- 果物に仕事の疲れ癒される
田上 鶴子
- 子鼠を飼つてるような冷蔵庫
武田 敏子
- 妻でなく母でない夜のロゼワイン
鈴木レイ子
- 不審者へ吠える気のないペット犬
酒本 耕造
- 童顔へたどりつかないクラス会
高木 旬笑